

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	134高等教育の充実		
施策のねらい (めざす姿)	義務教育修了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	小松崎 佳之

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	児童・生徒一人ひとりに対する進路指導として、上級学校の体験説明会の情報提供や保護者会で高校の先生を招いて説明会を開催するなど幅広く進路選択ができるようにする。オープンカレッジについては、引き続き多様化・高度化する市民ニーズの把握に努め講座の充実を図る。また、地権者(高校用地)からの買い取り要望との調整を図りながら、適正な賃借料基準額に基づく借地を行う。	③改革・改善内容	多様化・高度化する市民の学習ニーズをアンケートによりの確に把握し、さらなる学習機会を提供するため、大学との連携を強化し、事業の充実を図る。
②①に基づく取り組み結果	オープンカレッジかまがやでは、市民の高度で専門的な要求に応えるため、市民の企画委員による市民ニーズに対応した学習機会を提供した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	義務教育終了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。また、自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。
②施策の概要	義務教育終了後の生徒一人ひとりの能力や適性に応じた進路指導を行う。市民の高度で専門的な学習要求に応えるため、大学等の高等教育機関や学習機関との連携に努め、学習機会を提供する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民の更なる多様化・高度化する学習ニーズへの対応が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	多様化・高度化する市民の学習ニーズに対応できるような講座を市民の企画委員と検討し、千葉経済大学短期大学部との連携による「オープンカレッジかまがや」の他に、和洋女子大学との連携による「市民セミナー(文学講座)」を実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	オープンカレッジかまがや参加者数	人	532	596	281	1,200
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	高等学校進学率	%	98.9	99.2	99.6	現状維持
	ii	オープンカレッジかまがや参加者数	人	532	596	281	1,200
	iii						
	iv						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)			令和3年度予算	
事業費(千円)	1,877	1,869	(単位:円) 17円			1,829	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催場所の定員を通常の半数以下にしていることから、講座の定員も半数にしている。受講希望者が定員を上回っていることから、より多くの方に受講していただけるような対応の検討が必要。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	高校進学率は、現状を維持することができた。オープンカレッジかまがやの参加人数は、新型コロナウイルス感染症拡大措置に伴い、定員数を半数としたため、達成することができなかった。ただし、参加者等からのニーズ調査などを実施していることから、定員数を上回る申し込みがあったことから、実施方法などの見直しを検証する。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	千葉経済大学短期大学部及び和洋女子大学との連携により、高度で専門的な学習環境を提供していることから、さらなる充実を図るため各関係機関との連携を強化する。
③特に重点化する事務事業	用地借上に要する経費